

# 元気なまちかど

## No.1 楽しみながら汗を流す

ショートテニス教室

市主催のショートテニス教室が12月17日、甲南体育館で開催されました。

ショートテニスは一般的なテニスコートよりも小さく、ボールもバウンドしにくいものを使用するため、ラリーが続きやすいことから、子どもや高齢者でも気軽に楽しめるスポーツとして、近年注目されています。全6回のこの教室は基本的なルールや動作の習得を目的としており、5回目のこの日は、サーブを中心に練習が行われました。2時間の練習後、参加者は「あつ」という間に時間が過ぎた。もつとやりた」と汗をぬぐいながら笑顔で話していました。



▲ショートテニスの練習を行う参加者

## No.2 甲賀で世界を感じよう

国ふえす 2016 in Koka  
～とどけみんなの想い つながろう海をこえて～

甲賀市国際交流協会が主催する国際交流イベント「国ふえす2016 in Koka」が12月18日、忍の里プララで行われ、約千人の来場者でにぎわいました。

会場には各国の料理や文化を紹介するブースが設けられ、ステージやロビーでは、チャイナドレスショーやフラメンコなどが披露されました。

フィナーレでは、インドネシアの音楽に合わせたダンスを会場にいる全員で踊りました。国籍や言葉の壁を越えて盛り上がり、来場者は市内にしながら、海の向こうに広がる世界を体験しました。



▲フィナーレで盛り上がる会場

## No.3 「お茶」の魅力を知る

お茶の淹れ方教室

お茶の淹れ方教室が12月19日、大野小学校で行われ、3年生の児童23人がお茶について学びました。

この教室は、子どもたちに市の特産品である茶への親しみを感じてもらうと滋賀県茶業会議所と市が共催しているもので、今年度は市内17の小学校で行われています。

この日児童たちは、茶の種類や歴史を学んだ後、急須から煎茶を自分たちで淹れました。淹れたてのお茶を味わった児童は、「とても香りがいい」「最初は苦味があるけどだんだんと甘くなる」などお茶の魅力を体感していました。



▲急須から湯飲みにお茶を注ぐ児童

## No.4 現地小学校で子どもたちを支援

青年海外協力隊 岩室敦美さん

国際協力機構の青年海外協力隊としてアフリカのモザンビーク共和国に派遣される土山町在住の岩室敦美さんが12月21日、出発を前に岩永市長を表敬訪問しました。

元小学校非常勤講師の岩室さんは、今年1月から2年間で、同国の小学校で音楽を中心とした情操教育などに取り組まれます。

小学生からの夢だったという派遣に「今まで培ったことを現地の子どもたちのために生かしながら、日本文化も伝えたい」と抱負を述べ、岩永市長は「現地での貴重な経験を持ち帰って、市の子どもたちにも伝えてほしい」と激励の言葉とともに赤い忍者衣装を贈りました。



▲現地での抱負を述べる岩室さん(左)

## No.5 手作りの門松で新年を

ミニ門松づくり

ミニ門松づくりが12月25日、みなくち子どもの森で開かれ、13人の親子が参加しました。

最初に門松の意味や作り方の説明を聞いた後、太い孟宗竹をのこぎりで切るところから作業を始め、最初は苦労していた親子も、協力しながら進めていきました。

その後、真竹や梅、松の枝、ウラボシの葉、クマガネモチの実などを思い思いに飾り付け、素敵な門松に仕上げました。

参加者たちは、思いのこもった手作りの門松で新年を迎えられることをとても楽しみにしていました。

## No.6 アメリカで異文化体験

ミシガン州中学生国際交流事業

市の姉妹都市である米国ミシガン州3市（デウィット市、マーシャル市、トラバースシティ市）へ市内5中学校の2年生20人が派遣されました。この事業は、市の中学生が国際感覚を身に付け、お互いを理解・尊重することの大切さを学ぶために実施されています。

生徒たちは1月6日から14日までの間、各市に分かれてホームステイをしながら現地の中学校に通い、授業に参加したり、文化の違いを体験したりしました。

なお、出発を前に壮行会が12月27日、市役所甲南庁舎で催され、生徒一人ひとりが期待を胸に抱負を語っていました。



▲壮行会に出席した派遣メンバー